



Club Office
京都YMCA本館
〒604 中京区三条柳馬場角
TEL(075)231-4388



11
NO. 381
2011年11月号

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標語

国際会長 主題 “Audere est Facere-To dare is to do”
「とにかくやろう 成せばなる」

アジア会長 主題 “Audere est Facere-To dare is to do”
「とにかくやろう 成せばなる」

スローガン “Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」

西日本区理事 浅岡徹夫 (近江八幡クラブ)
主題 “Contribute to the Community through Active Services with Love” 「ワイズ原点、愛と奉仕で社会に貢献」

西日本区強調月間

Public RelationsWellness ワイズデーはワイズ広報デー、ワイズデーでの催しや事業を積極的に外部に広報しましょう。できればワイズ以外の方も参加できるイベントを企画しましょう。**辻野啓一広報事業委員**

今月の聖句

自分を賢いものとうぬぼれてはなりません。誰に対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。
ローマの信徒への手紙第12章16節17節

第32代

会長標語

Let's try!

～ウエストの未来をみんなの手で～

会長 島田 博司
副会長 市橋 清太郎
書記 藤居 一彦・中原 一晃
会計 加藤 秀行

「巻頭文」「公益財団法人 京都YMCA」

京都YMCA 総主事 神崎清一

京都キリスト教青年会(京都YMCA)は、発会以来122年にわたり、会員の方々によって、その時代に応じた社会の課題と向き合うことによって必要とされた事業を進めてきました。それは職業教育、語学教育、健康教育、生涯学習であり青少年教育でありました。その時代によって形は変わりますが、それぞれ社会を変革する力を持っていました。

これらの歴史によって培われてきたことが認められ、このたび本会はすべての活動が「公益財団」として相応しいものであるとして認定されました。このことに伴って、会員の皆さんに検討していただきました会員制度も変更いたしました。これは「変わる」というより、次の3つのポイントにおいて「より意識を持って」事業展開をしていく必要があるものと考えています。

1つ目は、公益財団という自負と責任。

2つ目は、これまでどおり、いやこれまで以上に、リーダーを始めとしたボランティア、社会人のボランティア、そして維持会員の方々为主体者であり、YMCA運動の中心であること。

3つ目は、そのボランティア・会員の働きが、自らの研鑽や成長とともに、社会の課題解決に向けた活動を、より社会に発信すること、より力を発揮することが求められていること。

10月にはエイズ文化フォーラムを多くの団体や機関の方々、さらには京都府・市を始めとした行政機関の方々と運営組織を作り、YMCAが事務局として関わらせていただきました。これは私にとっては、地域の取り組むべき課題に対してYMCAという組織を超えて、且つYMCAがその中心の1つとなって役割と機能を果たしつつ事業を行うことへのチャレンジでもありましたが、皆様のおささえによって、大きな一歩を踏み出すことができました。

これからもYMCAのブランド力を高めることは勿論ですが、混沌とした社会の状況であることから、ますます私たちYMCAならびにワイズメンズクラブの「社会に提言、提案する力」また「社会の課題解決に出来る力」が必要となるのではないのでしょうか。

地域で生きる良きロールモデルとして、地域にある企業、職業人としてのビジネスモデルとして、私たちの活動や行動を再点検、再構築するターニングポイントとして、「公益財団法人京都YMCA」のスタートを切ることができましたことに感謝します。

	メンバー数	第一例会	第二例会	ニコニコ	ファンド
会員	24名	メン 20名	メン 23名	前月繰越 52,000円	ポテト 642,659円
功労会員	1名	メネット 1名	メネット 1名	第一例会 0円	水ナス 0円
特別メット	1名	コメント 0名	コメント 0名	第二例会 19,218円	みかん 0円
合計	25名	ゲスト 0名	ゲスト 14名		リンゴ 0円
100%		ビジター 0名	ビジター 0名		サクラソホ 0円
メイト含む					ダンス 0円
前月出席率					がんばろう東北 3,150円
100%		合計 21名	合計 38名	累計 71,218円	合計 645,809円

京都部合同メネット会 10月9日(日)
特別メネット 鈴木 けいこ

三連休の真ん中、十月九日ロイヤルホテルSPAにて京都部合同メネット会がありました。メネットソング斉唱で始まり、山中真理子主査の挨拶があり、日本区理事浅岡さまの挨拶では「東北の視察に行かれ、復興の大変さを目の当たりにして皆で助け合わなければ」という思いを強く感じられました。



現地ではYMCAの頑張りがすごく力強く、ワイズの支援の輪の力がとても大きいことも印象に残ったそうです。

大沢玲子メネット事業主任からは西日本区プロジェクトへ協力の要請がありました。上記のYMCAのボランティアリーダーたちの活動支援に一人二万円 60名計120万円を目標にメネットもお手伝いすることになり募金しました。

「若者に夢と希望が持てるように」一年間支援しましょうと呼びかけられました。

ティータイムのあと今日のメインであるプリザーブドフラワーアレンジメントに挑戦。かわべやすこ先生ご指導で嗜好をこらしたフラワーBOOKが出来上がりました。(参加:岩本 大西 立山 福田 鈴木)



ポテトワーク 10月15日(土)
ファンド委員長 河合 久美子

10月15日(土)、午前8時集合にて、久御山町にある運送会社の駐車場において、ポテトワークが行われました。昨年は公道で行われたワーク、今年は梅小路の構内が借りられず、どうしよう?と、荷降ろし場所の確保に頭を悩ませていたところ、加藤ワイズの尽力で、場所の手配に加え、運送もろとも業者の方をお願いすることができ、今後にも繋がるご縁をいただけて、誠にラッキーなことでした。

前日から心配された空模様も、午前中は何とか持ち

こたえ、トレーラーからの荷降ろし、トラックへの積み替えも、社員の方がフォークリフトを操作して下さるなどの協力も得て、京都クラブさんと合同でしたが、スムーズにワークを進めることができました。2tトラックが例年より1台少なく、軽トラ等にも大活躍してもらい、積載量ぎりぎりかそれ以上に積んでもらったの配送で、ドライバーのメンバーには無理をお願いし、特に松本ワイズには、降り出した雨の中、午後3時まで動いていただくこととなり、恐縮でしたが、事故なくワークを完了することができたことは、何よりだったと思います。雨が続き、ポテトの箱の中身が湿っており、すぐに開封して広げるなどの手立てが必要でしたが、結果としては、深刻なクレームもなく終えることができました。今年の数量は、メンバーにそれぞれ購入数を増やしていただいた結果、ポテト1,162箱、かぼちゃ200箱となりました。ご協力いただいた関係の皆様やメンバーに心より御礼申し上げます。

第二例会(新人会員増強例会) 10月25日(木)
地域奉仕・環境委員 大西 光子

10月20日(木)19:00より、京都ロイヤルホテル&SPAにて、新人会員増強例会が行われました。



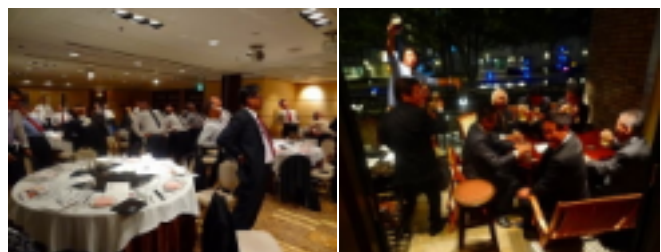
本日は増強例会なので、ゲストの参加も13名と多く来て頂き、平安徳義会の木塚先生やプリンスクラブからも25周年のアピールにも来ておられます。

また本日は、市橋ワイズのスポンサーで、吉川忠様の入会式があります。

いつものウエストの厳粛な入会式で、着々と入会式は進められて、全員の歓迎の握手を持って晴れてご入会!これからの吉川忠ワイズの活躍に期待したいものです。その後、ファイブM・森明子先生のウェルネス体操のお話です。

ストレッチや筋トレを続ける事や、ギックリ腰だけでなくギックリ背中やギックリ足も有るという事、食品のお話では油やその他の食品の、私の知らない話を色々聞かせて頂き、いかに私がそういう物に無頓着で、体に悪い食生活をしているかを考えさせられました。でも現代に生活をして、忙しく仕事に追われていると、中々難しいですね。

森先生もご講演に熱が入り、ゲストの方も多くて本日はいつもより30分長い21:30に例会が終了しました。その後、吉川ワイズの入会のお祝いや親睦を兼ねて、御池木屋町のダブリンにて2次会を行い、大いに親睦を深めたのは言うまでもありませんでした。



新生京都YMCAの誕生を機に40年の役職を終えて 交流IBC/DBC委員 森田 恵三

このほど財団法人京都キリスト教青年会が10月2日を以て解散し、10月3日付で公益財団法人京都YMCAとして移行設立されましたことを心よりお喜び申し上げます。



「京都YMCA史」には、1889年2月

に京都基督青年会が創立されたのち、幾多の困難を克服し、より強固な基盤を築き上げるため、二度目の創業といわれる京都基督教青年会が1903年2月に創立されたとあります。

爾来122年に及ぶ輝かしい歴史は、神様の見守りに支えられながら、先人の遺徳を大切に継承してこられた歴代役員・職員をはじめとする会員やボランティアによる不断的努力によって築かれて来たことを感謝せねばならないと思います。

省みれば、私自身にとっては、京都パレスクラブチャーターメンバーとなった翌年の1972年に教育事業委員を拝命したのが、YMCAへの直接的な任務を負った奉仕活動のスタートとなったのでした。

1990年には学校法人評議員（議長）、1995年からの財団法人常議員や監事をはじめ数々の役目を通して40年の長期間、それぞれの立ち位置で仕事をさせていただく中で、多くの人たちの「愛と奉仕」に触れることができたことを嬉しく思っています。

特に思い出深いのは、長岡YMCAの設立当初から関わって洛西センター終結に至るまで、密度の濃いウエストクラブによるサポート事業を続けたこと。京都YMCA改革のために危機意識共有の必要性を当時の酒井総事に提言し、改革プロジェクト発足の動機づけとなったことなどがあります。

京都YMCAの経営・財政の安定化が実現しつつあるとき、40年に及ぶ役職を退任できたうえに、近々「平成23年度京都府私立学校教育功労表彰」を受けるとの伝達をいただいたことには、唯々感慨一人のものを覚えます。

新生京都YMCAの今後ますますの安定繁栄を祈念して拙稿を閉じる次第であります。

広報主任を終えて

書記 中原 一晃

昨年は1年間、広報主任というお役を頂戴し、自分なりに取り組んでまいりました。期の始まる1年以上前から、来たるべく年への準備に入り、直前主任の行動を拝見させていただきながら進むわけです。

いいところ、自分には無いところなど、今まで気づかないことが見えてきます。この時期には、これ、次にはこれ、このタイミングで主査さんをお願いしなければならないことなど、予行演習には十分な準備期間の1年を経験するわけです。

やっと迎えた区大会で、お役の年となりスタートします。仁科理事のキャビネットはご存知の通り、用意周到、鉄壁の守りで私たち主任が気持ち良く動けるように色々見えなくて働いてくださっていました。この1年の理事始めキャビネットを見ていて、これこそワイズの求めている人間関係、いい仲間の集まりでありお互いがお互いを尊重し、足りない部分は補い、間違っていれば、遠慮なく注意し合い、がっちりスクラムを組んでおられました。その大きな仁科丸に私は非力なクルーとして乗船させていただいたわけです。

しかし、私以外の主任達は強烈な個性と、行動力、インパクトのある話術などを持ったツワモノ揃いでした。この7人の主任（七福神と脳裏に走りましたが違います・・・）も仁科丸キャビネットのお陰で、一丸となり、同じオールを同じベースでこげたことが、力強く前進できた要因だと思っております。今までと違う区の役員の立場からワイズメンズクラブを見ることが出来ました。そして、クラブも全く同じだと思えます。

みんなで同じ方向を向いていないと、最低限守ることは守らないと前進しません。「ワイズはやくざの世界と同じだ」と言う人がいます。聞こえは悪いですがまさに、「義理、人情の世界」なのです。この意味から同じと言われるのです。

これは、ワイズだけではなく、いろいろな団体、集まりなど、人とのいい関係を作っていれば、おのずと無理を聞いたり、頼まれたことに快く一肌脱いだりするものです。そのお互いが、以前に助けて頂いたので、今度は恩返ししないと、思い合うこの連続だと思えます。主任の役目の大変さは5年の情報委員の経験から誰よりわかっていたし、自分には出来ない事と決め付けていました。蛇ににらまれた蛙？ いえいえ柔らかい物腰の奥底に、図太い信念をたぎらせた、仁科理事のお願いでしたので断るに断れなくなり・・・この依頼は三次会の蕎麦をおごってもらった後で聞いた事を付け加えます。安うで落ちてしもたもんです。終わってみれば、同期の主任は仲間以上の戦友という思いです。1年ですがこの貴重な経験を与えてくださった仁科理事、キャビネットの皆様には感謝しています。若手メンバー諸君！もっと積極的に部や区に出ましょ。損はありません。ワイズの違った一面、違った面白さを見ることが出来ますから。

新入会員のご紹介

吉川 忠(よしかわただし)ワイズ(写真右)
職業 茶道古美術商
生年月日 昭49年7月20日
趣味 テニス
本人から一言「どうか、よろしくお願いいたします。」



東日本大震災被災地慰霊の旅のご報告
交流IBC/DBC委員 森田 恵三

実施日 10月29日(土)～31日(月)
参加者 東京西(神谷幸男) 京都ウエスト(森田恵三・桂 厚子)
大阪西(谷 正一) 神戸西(井上恵子)以上6名
訪問先でお世話になったワイズメン

仙台青葉城(清水弘一・仙台市内3クラブによる支援活動委員会のリーダー) 東京ひがし(竹内 聡・ウエストとのDBC) 仙台広瀬川(門脇秀知) 仙台YMCA(村井伸夫・黒田 敦)

訪問被災地 北は陸前高田市から気仙沼市・南三陸町・女川町・石巻市・東松島市・名取市・岩沼市・亶理町・山元町の南まで
懇親交流会 仙台・青葉城・広瀬川3クラブから10名の参加
仙台YMCA 仙台YMCA訪問 村井氏・大野浩悦総主事より震災時の状況やYとワイズの協力によるボランティア支援活動の現況と見通しなどを聞かせていただく。

HEXAGON DBCより支援金として30万円を贈呈。

以上が初訪問の概略ですが、現地に行き、この目で見てこの耳で聞いてこそ震災の恐怖、残酷さ、尊い多くの命が奪われた運不運の怖さ・・・を体感できたのだと感謝しています。長距離の移動による疲れよりも心の疲れがドット出たような気がする慰霊の旅でした。今後の支援活動については清水ワイズと共によく考えて実施したいと思っています。

旅行の詳細は各クラブのプリテン記事(京都ウエストでは12月号で掲載予定)をもってご報告する予定ですのでしばらくお待ちください。

YMCA NEWS

私たちはこどもの笑顔が大好きです。そこには心からの喜びがあふれているからです。他者への気遣い、遠慮がないものであるかわかりませんが、計算や演技ではなく屈託ない笑い声と笑顔に出会うと、ほっとして嬉しくなってしまいます。なんだか得をした気持ちでいっぱいになります。

YMCAの活動がいつも笑みの絶えないものであり、YMCAはいつも笑い声が聞こえる場所であり続けるように、今年も、これから始まりますYMCA/YWCA合同祈禱週、国際協力キャンペーン、リトセンオータムフェスタ、クリスマスプログラムをはじめとしたすべてのプログラムをお憶えいただきますようお願いいたします。

今あらためて、希望が見出せないで立ち尽くしている人、弱くされた方々に、あたりまえに思いを寄せて生きることができる、そんな青少年を育てることがYMCAの使命と考えています。そんな彼、彼女たちをサポートすることで私たち自身が多くのことを学び、変えられていき、そのことで次の時代にさらなる希望を見出すことができることを確信しています。

さて、わたしは自分自身や家族をはじめ周りの人が行動や生き方が変えられたことに気づいたときに、こどもたちの笑顔と同じくらい、思わずうれしくなり顔がほころんでしまいます。

こんなシーンをたくさん創り上げるYMCAという輪の中に参画していただきますようお願いいたします。

京都YMCA 総主事 神崎 清一

11月 Happy Birthday

中原一晃ワイズ
大西光子ワイズ
島田由美子メネット

11月 Happy Anniversary

立山隆一・益子夫妻
大西光子・洋夫妻
野田泰伸・君子夫妻



2011年11月スケジュール

11/1	火	三役会	19:00	リトリートセンター
11/3	水	YMCA学園祭		京都三条YMCA
11/6	日	ワイズデー街頭募金	12:00	京都三条YMCA集合
11/10	木	オープン役員会	19:00	京都三条YMCA
11/19	土	竹林ワーク	9:00	長岡京市 竹林
11/20	日	みやこふれあい祭り	9:00	西院中学校
11/23	水	リセンオータムフェスタ	11:00	リトリートセンター
11/24	木	通常例会	19:00	京都ロイヤルホテル&スル

2011年12月スケジュール

12/6	火	三役会	19:00	京都三条YMCA
12/8	木	オープン役員会	19:00	京都三条YMCA
12/10	土	みかんファンド	後報	後報
12/10	土	竹林ワーク	9:00	長岡京市 竹林
12/17	土	クリスマス例会	19:00	京都ロイヤルホテル&スル
12/後報	後報	忘年会	後報	後報

10月役員会議事録

今回は紙面の都合上、割愛させていただきます。